



七松小学校 学校だより

令和2年度
7月末号電子版
尼崎市立七松小学校
校長 江上佳宏

★ホームページにのみ掲載しています。:児童に配付していません。

令和2年度1学期を振り返って

人生59年にして、半年間ずっとマスクを欠かさずにつけたことは初めてです。子どもたちも、保護者の皆様も含め、よほど医療関係等特別な仕事に従事されている方以外でないとこのマスク生活は馴染みにくいのではないのでしょうか。

言葉遊びではありませんが、マスクと言えば、顔を隠すイメージがします。4月以降、初めて出会う人、子どもたちや先生方、PTAや地域の皆様に、マスクをつけたまま、出会いの挨拶をしました。顔を覚えてもらわないといけないのにマスクをつけたまま。未だに素顔を見ていない子どももいるかもしれません。

新型コロナウイルス感染拡大防止のために、毎日の検温、マスクの着用、手洗い、ソーシャルディスタンスと生活スタイルが大きく変わりました。学校再開も、分散登校から始まり、やっと全員がそろって教育活動ができるようになりました。

子どもが登校して、1日に1回は、全ての教室をまわるよう心掛けています。正直なところ、いろいろな学校に勤務しましたが、この七松小学校の子どもたちは、学習習慣とともに、学習規律がしっかりと身につけています。これも、前任の森本秀子校長先生はじめ、諸先生方がしっかりした指導体制と指導方法を確立され、子どもたちの学びに必要な基礎的・基本的な知識・技能を確実に身につけさせていることに身をもって感じさせられました。

私自身も、この七松小学校の先生方には、より一層の教育に対する情熱、豊かな発想をもって、創意工夫と活力に満ちた教育活動を展開し、子どもたちに「これからの時代を生きる力」をつけてほしいと願っています。

約3ヶ月間の新型コロナウイルス感染拡大防止に係る臨時休業は、子どもたちにとって、相当退屈な期間だったようです。8月1日から17日迄の夏季休業日(夏休み)は、子どもたちにとって、少しでもよい思い出になる夏休みになるよう願っています。ご家族で過ごす時間を楽しんだり、地域の行事に参加したりできればと願っています。ご家庭におかれましては、新型コロナウイルス感染拡大の第2波による緊急事態宣言等により、社会に大きな変化等が起こらない限り、感染防止の対策を取りながら、少しでも充実した夏休みを工夫していただきますようお願いいたします。

これからの社会の動向は、予測が付きませんが、今年度は、8月18日から2学期が始まります。子どもたちにとって、今までとは違う2学期になるかもしれませんが、学校として大切にしている行事等は、規模を縮小し、形を変えるなどしてでも可能な限り実施する所存です。ご理解とご協力をお願いいたします。